平成29年度業務実績評価に係る論点整理(案)

1 基本的な考え方

年度評価実施要領における年度評価の方針及び第1回公立大学部会等における各委員の意見を踏まえ、 次のとおり整理する。

(1) 評価について

平成29年度業務実績報告書の自己点検・評価を踏まえ、業務の実施状況を確認したところ、全 106 項目のうちA評価(達成度9割以上)以上となった項目は103項目(97.2%)となっており、全体としてはおおむね順調に進んでいるものと認められる。

個別の評価については下記のとおり。

・評価に係る意見

ATTION 1011 C 1019 C		
項目	委員名	発言要旨及び考え方
自己点検評価について	鈴木委員	昨年度の評価委員会において、実績報告書における自己点検評価
		が一律評価 (A 評価) となっており、札医大は何に力を入れているの
		かよく見えてこないと指摘したところだが、今回の評価については、
		昨年度に比べメリハリのある評価となっており、一定程度改善され
		ている。
情報セキュリティ対策	古谷委員	平成28年度の業務実績において取組が不十分であった情報
について		セキュリティ管理等について、対策を講じ改善されたことは
		評価できる。
国家試験合格率に係る	谷山部会長	中期計画では、医師の国家試験合格率について、94%とい
目標値について		う目標値を定めているが、平成 28 年度に続き平成 29 年度も
		目標値を下回っている。医学部にとって国家試験の合格率は
		重要であるため、目標達成に向け、様々な角度から原因を分
		析し、対策を講じることが急務。
	鈴木委員	今後、医療人育成センターに整備が予定されている統合 IR
		部門において、専門的な原因の分析を行うことが必要である。

上記意見を踏まえ指摘事項については下記のとおりとする。

2 指摘事項について

「医学部にとって重要な指標となる医師国家試験合格率について、2 カ年にわたり目標値を下回っていることから、早急に原因を分析し、対策を講じる必要がある。

また、医師国家試験合格率低下の分析等を含め、今後の大学運営に関して、情報分析・政策分析がますます重要となると考えられることから、IR(Institutional Research)のより積極的な活用を期待する。」

《昨年度の指摘内容》

法人の業務運営状況を道民に対して分かりやすく示すことが重要であることから、年度計画については、目標達成の目安となる数値の設定に加え、計画から改善までの一連の流れ(PDCAサイクル)を明確にし、客観的に分かる評価となるよう検討を必要とする。